

だから、今、整理ができてないね。今後、この次までに整理しといて、ちゃんと、分かる。言ってる意味分かりますよね。じゃあいいです。

○議長（松尾徹郎君）

引き続き、一般質問を行います。

次に、渡辺栄一議員。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。〔8番 渡辺栄一君登壇〕

○8番（渡辺栄一君）

渡辺栄一でございます。

本日、最後5番目ですが、よろしく願いいたします。市民の皆様方をはじめ、いろいろな方々のお知恵を賜りながら、稼げるまち、人口増を目指し、活動することで、当市の緑の交流都市、さわやか、健やか、輝きのまちへ寄与してまいりたいと存じております。

発言通告に基づき、1回目の質問を行います。

1、当市における農水産業の生産費高騰について。

昨今のエネルギーをはじめ、食料、肥料及び飼料などの高騰で、市内の農業、水産業などの経営圧迫が懸念されている。これらの対策について伺います。

- (1) 生産費の高騰に伴う市内生産者の現状をどのように捉えているか。
- (2) 国もエネルギー等の価格対策を行っているが、これと並行して市の対策も必要と考えられる。具体策を検討しているのか。
- (3) 農業用の肥料や漁船の燃料などの支援策は考えているか。
- (4) 市内の畜産事業者は多くはないが、生乳を加工して市内でアイスクリームを販売するなど、他の産業ともつながりがあるので、飼料高騰で廃業者を出さぬように要望するが、考えはあるか。
- (5) 予算措置以外に、これらの生産者を支援する策があれば知恵を絞って検討してほしいが、考えはあるか。

2、当市への企業誘致について。

先般、県内では魚沼市が誘致に応じた企業に最大1,000万円の補助金を支給する「魚沼市企業移転定住促進支援事業補助金」の制度を設けたとの報道があった。当市と魚沼市では、様々な条件が異なるので、一概に参考にはできないが、当市の企業誘致活動について伺います。

- (1) 魚沼市の企業移転政策について、どのように評価するか。
- (2) 従来、当市ではどのような条件の下に誘致活動を進めてきたか。
- (3) 誘致対象の企業へどのような広報活動を行ってきたか。
- (4) 対象となる企業がどのような希望条件を持っているか、事前のリサーチが必要と思うが、どのように考えるか。
- (5) 広報活動と実際の交渉にそごが生じないように2つの部門の連携または一本化が必要と思うが、どのように考えるか。

3、ウクライナ避難民の受入体制について。

このたび市当局は、戦火に追われたウクライナ避難民の受入れを表明しましたが、大変時宜にかなった決定と存じ、大いに評価いたしますが、具体的な方策を伺います。

- (1) 受入れの人的規模と時期について、どのように考えているか。
- (2) 市営住宅を準備するようであるが、貸与または給付する家具や家電などの計画はあるか。
- (3) 学齢期の児童などの就学、言語支援策をどう考えるか。
- (4) 生活や就業の支援策をどうするのか。
- (5) 戦況次第では、長期化することも予想されるが、市内在住を希望した場合の長期的支援を考えているか。

4、当市の諸問題について。

- (1) 平成29年9月、健康づくりセンターの屋内プール増築設計業務委託の入札について、どこに問題があったのか、また、どうするつもりなのか。
- (2) 大糸線を存続させるための有効な手だてはあるか。庁内でどこまで議論しているのか。

以上、1回目の質問を終わります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

渡辺議員のご質問にお答えいたします。

1番目の1点目につきましては、生産コストの増加につながることから、経営に大きな影響を及ぼすものと懸念いたしております。

2点目と3点目につきましては、今後も市場及び国・県の動向を注視し、必要に応じて対応してまいりたいと考えております。

4点目につきましては、畜産農家のほとんどが配合飼料価格安定制度に加入しており、必要に応じて市の支援を検討してまいります。

5点目につきましては、的確な情報提供や関係機関との連携により、きめ細やかな支援に努めてまいります。

2番目の1点目につきましては、企業誘致の一つの方策であると捉えております。

2点目につきましては、用地取得の補助や設備投資の課税免除、雇用の増加に対する補助等により対応いたしております。

3点目と4点目につきましては、産業団地や支援制度の紹介を行うほか、状況に応じて対応いたしております。

5点目につきましては、企業誘致は商工観光課企業支援係が対応いたしております。

3番目につきましては、市営住宅10戸を確保し、避難を希望する方の受入れについて対応いたしてまいります。避難される方の家族構成や本人の希望等を確認する中で、県の助言や庁内連携により、対応してまいります。

4番目の1点目につきましては、設計書に違算があり、その状態で入札し、契約したことは大変遺憾であると捉えており、再発防止に向けた対応策を講じております。

2点目につきましては、庁内にとどまらず、沿線地域が一体となって利用促進に取り組んでいる

ところでございます。

以上、ご質問にお答えいたしました。再度のご質問によりましては、所管の部・課長からの答弁もありますのでよろしくお願いいたします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

それでは、2回目の質問に入ります。

まず、市内の生産事業者に生産費の高騰などについて、要望などを何かヒアリングだとかそういったものを行っているのか伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

木島農林水産課長。〔農林水産課長 木島美和子君登壇〕

○農林水産課長（木島美和子君）

お答えします。

ヒアリング等まではいきませんが、窓口においでになった農業者の方にお話を聞いたり、あるいは農協さんのほうとお話をしたりということで、今の情勢については、話は聞いておるところでございます。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

乳牛用の穀物の飼料というこの価格は、何か2年前より約2割ほど上昇してると言われておりまして、生産費の中で飼料費の割合が高い酪農というのは、特に影響が大きいと考えられております。実際、酪農家さんに聞いたところ、前年より100万ほど多くかかっているということなんですけれども、どのようにこれを認識されておりますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

木島農林水産課長。〔農林水産課長 木島美和子君登壇〕

○農林水産課長（木島美和子君）

議員おっしゃいますように、畜産農家さんの配合飼料に占める、経営に占める配合飼料の割合というのは、大変高いものがあるかと思えます。輸入しているという点で、国際市場の影響も受けやすいですし、為替の影響も受けるということで、先ほど市長答弁にもありましたように国の影響緩和の制度がありまして、ほとんどの農家さん、畜産農家さんがその制度に加入されております。

ただ、その制度が直近1年間の価格の比較をしまして、上昇分に対して補填がされるものですから、今まではかなりの額の補填というのがあったかと思うんですけども、この状態が長引きますと、だんだん高止まりといたしますか、補填額が小さくなってきますので、その点は、私どもも心配し

ているところではあります。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

この飼料の高騰が7月から、また上がるんじゃないかというような話を聞いたんですけども、これを経営がこのまま、また上がってきますと、経営が立ち行かなくなる畜産農家が出てくる可能性も出てくるわけです。コロナ禍で飲食店などが支援金があったように行政のほうからも何らかの助成というものが必要だと思いますけれども、改めていかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

木島農林水産課長。〔農林水産課長 木島美和子君登壇〕

○農林水産課長（木島美和子君）

先ほど説明させていただきましたとおり、国の制度が今、長期のそういう価格の変動に対応できていないというような形になっております。国のほうでは、長期化して、今の現状の制度で対応できない場合には、別の制度で支援を行うというような方向性を出しておりますし、私ども市としましても、何らかの形で状況に応じて支援を考えていきたいというふうに考えております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

市内の畜産を含む農業、水産業は、当市にとって、まだまだ伸び代がある分野だと捉えております。財政出動も必要だと思いますけれども、市長はどのように考えておりますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

お答えいたします。

1次産業は、当市にとってはやはり大切な産業だと捉えております。と申しますのは、やはり糸魚川市に根を下ろしておる産業でございます。いろんな状況が変わっても、ここから出ていくということができない部分でございますので、やはり当市にとっては大切な産業と捉えますし、また、地域特性を考えたときには、自然の恵みが非常に大きい部分でございますので、そういったところをやはりしっかりと糸魚川市として売り出していくことが、産業につながるものと捉えておるわけですが、厳しい状況であることは間違いないと思っております。でありますから、行政もしっかりと連携を取りながら進めていきたいと思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。〔8番 渡辺栄一君登壇〕

○8番（渡辺栄一君）

よろしく願いいたします。

では、2番目の企業誘致について、進めたいと思います。

当市への企業誘致につきましては、前回2月にも取り上げたところなんですけども、先ほどの答弁もあったとおり、通り一遍なことはやっているんだろうとは思いますが、なかなか目に見えて結果が出せてないと思うんですけども、そこら辺はどのように考えておりますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

大西商工観光課長。〔商工観光課長 大西 学君登壇〕

○商工観光課長（大西 学君）

お答えいたします。

今ほど当市でも、企業誘致施策につきましては、様々なものを、ほかの市と変わらないものをそろえさせていただいております。その中で、やはり実績というものもありまして、大きなものとしては、2年ほど前に京都本社のスマートフォンや自動車医療機器に使用されます薄膜抵抗器製造会社が、姫川産業団地に同社として国内の主力工場を建設し、稼働しておるという実績もありますので、当市にいたしましても、各企業に誘致活動のほうを引き続き行ってまいりたいと思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

企業誘致は、どこの市町村も必死でやってると思います。本当に人口等も関わってくると思いますが、当市は毎月50人前後減っております。恐らく9月頃には4万人を切るんじゃないかと思っております。このままでいいのかなと、本当に危機感などないんでしょうか、そこら辺を伺いたいと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

大嶋産業部長。〔産業部長 大嶋利幸君登壇〕

○産業部長（大嶋利幸君）

人口をある程度確保するという上では、おっしゃるとおり働く場所も1つの要素であります。

ただ、当市といたしましては、過去から製造業、建設業が主要産業でありまして、そこをまず、基盤として、そこを安定させるべく、様々な企業に関する支援制度をつくってきております。おっしゃるように引き続き、企業誘致も進めてまいりますけども、なかなか一朝一夕には進まないところでありますが、昨今では、新たな働き方を提案し、それによりまして、ふだんご家庭におられる育児に携わってる方とか、介護に携わってる方とかに、新たな働き方を提案し、それがきっかけでIT企業も進出していただいたところでもありますので、今ある基盤をベースにしながら、引き続き

新たな取組を進めてまいりたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

新型コロナウイルス感染症の影響でテレワークなんかも進んでる中で、業種によっては必ずしも都心部に本拠を構えなくてもよい環境というのが進んでいます。県外・市外から会社、職員ごと糸魚川市へ移転してもらい、市内の経済の発展だとか、雇用の場の確保だとか、定住人口の増加を図ることを目的に、補助金を交付するのも、当市でもできませんかということなんですけれども、そこら辺はいかが考えておりますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

大西商工観光課長。〔商工観光課長 大西 学君登壇〕

○商工観光課長（大西 学君）

お答えします。

おっしゃるように、今、多種多様な働き方というのは、日本の中でも進んでおります。そのような中で、当市では本年度、情報サービス等支援補助金ということで、市内の賃貸オフィスに新たに事業所を設置します企業におきまして、家賃を補助するものを本年度行う予定にしております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

その家賃の補助というのは、幾らぐらい補助されるんでしょうか。かなり半分以上というんでしょうか、どこら辺まで補助されるんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

大西商工観光課長。〔商工観光課長 大西 学君登壇〕

○商工観光課長（大西 学君）

お答えいたします。

月額家賃の2分の1以内、限度額が月5万円というふうになっております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

高いんだか安いんだか、ちょっと分かりませんが、そういった制度があるということで、ちょっと頑張ってもらいたいなというふうに思います。

それと、糸魚川市の場合は、交通のインフラも整っておりまして、他市に比べてかなり優位に立っているのではないかと思います。もっと人だとか物だとか、物が集まると考えておるんですけども、米田市長は、今後どのようなビジョンを糸魚川市で描いておられますでしょうか、お伺いしたいと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

お答えいたします。

渡辺議員、冒頭におっしゃったように緑の交流都市、さわやか、健やか、輝きのまちを目指していきたいと思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

市長、ありがとうございました。

次に、3番目、ウクライナ難民の受入れに関してでございます。

現在、糸魚川市への希望者というのは、いますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

中村企画定住課長。〔企画定住課長 中村淳一君登壇〕

○企画定住課長（中村淳一君）

お答えさせていただきます。

現在のところ、希望者といえますか、大体国のほうからご連絡、マッチングがされて、連絡が来るといった形になるんですけども、そのような連絡は、まだないといった状況でございます。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

受入れは初めてのケースになるんだろうと思います。避難生活が長期化したり、それによって言葉だとか就労、教育などの支援が課題となる中、ニーズに応じて臨機応変に対応していくと理解して考えてよいですか、伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

中村企画定住課長。〔企画定住課長 中村淳一君登壇〕

○企画定住課長（中村淳一君）

受入れの手順といたしましては、国によります避難民と、避難されてこられてる方と、受入れ自

治体とのマッチング調整が行われるといったことになってまいります。具体的にどのようなマッチングが行われるのかは、まだ分かりませんが、県内でも既に受入れをされている自治体もございます。なかなか言葉の問題といったところは大きいかと思っておりますけれども、国や県からの情報を頂きながら、どのような取組ができるかといったところで対応してまいりたいというふうには考えてございます。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

先般、新聞、マスコミ報道で、小千谷市に避難されてきた夫妻の記事が掲載されておりました。感謝の気持ちが語られていまして、感謝されるのは、やっぱり気持ち的にはうれしくなりました、糸魚川市といいますかイメージもよくなります。人道的な支援というのは大切なことだと思います。米田市長はどのように考えておられますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

お答えいたします。

非常に不条理な情勢になっておられるわけでございますので、ウクライナの国民の皆様方に、やはり安全な場所で生活していただきたいという気持ちであります。

ただ、なかなか言語がやはり大きな壁と思っております。でありますから、なかなか難しいのかもしれませんが、その辺の克服をどのようにしていけばいいのかというのは、ただ、今提出したもののだけではなくて、準備等もまた考えていかなければいけないんだろうと思っておりますので、なるべく安全な場所で生活して、安心して暮らしていけるような環境は、整えていきたいと思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

そこはよろしく願いいたします。

4番目、結局、これ当市の諸問題ということで、健康づくりセンターの件なんですけども、結局のところといいますか、悪い人になっているというのは、やっぱり元職員ということなのか、そこら辺を伺いたいんですけど、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

山口財政課長。〔財政課長 山口和美君登壇〕

○財政課長（山口和美君）



プールの積算誤りということになるかと思ひまして、悪い人どうのということではなく、事実として違算と申しますか、捉えるもののランクと申しますか、建物の状態、そちらのほうの単価を違うものを使って、計算を誤っていたということでは捉えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

6月6日の米田市長の行政報告では、元職員とは面会できないというような報告でしたけれども、本当にこのままでよいのですかということなんですね。それとまた、この時効というのは、いつなのか伺いたいと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

山口財政課長。〔財政課長 山口和美君登壇〕

○財政課長（山口和美君）

まず、このままでよいのかということのご質問なんですが、今の状態につきましては、元職員の方とは面談はかなわないということの状況にあります。

また、時効の関係なんですが、恐らく5年と考えておりますが、そちらのほうも入札を起点として考えておりますので、そこから5年と考えておりますが、正確な日付につきましては、ちょっと私どものほうでは、何月何日ということではお答えはできません。恐らく入札の日を起点としますと、令和4年の12月頃かなという推測は、してはおります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

そうすると、あまりもう日にちがないという変な言い方ですけども、あまり差し迫ってるというような感じですね。これは、たしか去年の10月の頃だったと思うんですけども、こういった事実が分かって、それから対応というのが、実に遅いなというふうに思うんですけども、何か元職員に弱みとか、何か握られているんじゃないかなんて思ったりもするんですけども、念のため確認なんですけど、伺いたいと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺総務部長。〔総務部長 渡辺孝志君登壇〕

○総務部長（渡辺孝志君）

そのようなことはないというふうに思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

500名ぐらいいる糸魚川市役所なんですけれども、何かなめられてるような印象があるんですけども、やっぱり何ていうんですか市役所側の正当性というんでしょうか、見えてこないというんでしょうかね。それが何なのかななんて思ったりもするんですけど、そこら辺はあまり感じておりませんか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺総務部長。〔総務部長 渡辺孝志君登壇〕

○総務部長（渡辺孝志君）

当方としまして、昨年度、文書での問合せですとかをしておりますし、その返答については、弁護士からも来ておりますので、弁護士のところに行って、いろんな事情を確認とか、そういったところで何とか当たろうというところは、努力はしてきたつもりです。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

何となくですけども、相手の弁護士さんを通してというようなことで、相手の弁護士さんの言いなりというわけじゃないんでしょうけれども、何か糸魚川市も顧問弁護士が2人いるということで、いろいろ方法はあるんじゃないかなと思うんですよね。前も言ったかと思うんですけども、弁護士さんがちょっと気に食わないという変な言い方ですけど、あまり力量がないということであれば、違う弁護士さんも頼んでやることも可能だと思いますので、もっと力のある弁護士さんを頼んで、やっぱりこのままだやむやという、やっぱりよろしくないと思いますし、やっぱりはっきりさせたほうが、私はやはり皆さんの名誉じゃないんですけども、仕事をしている糸魚川市職員のメンツという変な言い方ですけども、そういった誇りというわけじゃないんですけど、仕事に対する誇りというものはやっぱりあると思いますし、本当ふざけんじゃねえというようなことを言いたいぐらいだと思ってしまうんですけども、そこら辺はいかが考えておりますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺総務部長。〔総務部長 渡辺孝志君登壇〕

○総務部長（渡辺孝志君）

ですから、何とか当たれないかという形で、当顧問弁護士にも相談しながら、どういった策があるのかという形で相談はしてきているんですけども、結果的に相手方の弁護士が出てこられますと、なかなかそこから先が踏み込めないというのが、今の現状です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

井川副市長。〔副市長 井川賢一君登壇〕

○副市長（井川賢一君）

お答えいたします。

弁護士の力量というような話が今あったかと思いますが、私もお二人の弁護士とは、これまでも

いろんなケースで相談させていただく中で、しっかり力を持った弁護士だというふうに思っています。今後とも、その2人には継続していただきたいというふうに考えています。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

それであれば、もうちょっと何か違う展開があるんじゃないかなと思ってしまいますけども、何かちょっと腑に落ちないというか、すっきりしない感じはするんですよね。やっぱり相手があるなら、こっちだって権利はあるんだというふうに私は思うんですけども、何か相手のことばかり考えてても、ちょっとあんまり意味がないというわけじゃないですけど、あまりちょっとこちらとしては、あまり腑に落ちないというか、そんな気もするんですよね。こちらのことはどうなんだということで、もうちょっと強力に突っばねてもいいんじゃないかと思うんですけど、そこら辺はいかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺総務部長。〔総務部長 渡辺孝志君登壇〕

○総務部長（渡辺孝志君）

お答えします。

こちらの思いも、やはり相手方の弁護士には伝えております。特に今回のこういった背景について、どういった状況なのかというのはどうしても、そこは知りたいというところで上げておりますし、この違算の、やっぱり本当に計算間違いだったのか、それも含めてになりますけども、当方とすればやっぱり背景、再発防止に向けた状況、それから改善策、それを探りたいというところで、何とかそこら辺は弁護士でも、どうしても教えていただくことはできないのかというところは、しっかり当たってきたつもりであります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

昨年8月の裁判の傍聴記録なんかでは、やっぱり常習性があるというふうに裁判官が認めたというか、判断してるわけですよね。そういったことで、かなり、そうだったらあれ1件だけではなくて、ほかにもやっぱりあるんじゃないかというようなことでございますし、裁判傍聴記録というのは、いいかげんなものというわけじゃないと思うんですけども、かなり信憑性の高い記録だろうというふうに判断しておりますけども、そこら辺はどのように考えておりますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺総務部長。〔総務部長 渡辺孝志君登壇〕

○総務部長（渡辺孝志君）

そういった記録も、非常に有効な手がかりだなというふうに思っております。

ただ、それを踏まえて、やっぱりそこら辺の事実関係をしっかりつかまないと、それだけではちょっと十分ではないというところも分かってまいりましたので、何とか記録のところではかかりがつくられるかということで、再三当たってはきております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

なかなかちょっとらちが明かないという変な言い方ですけど、言えばこういって返ってくるような感じで、ちょっと残念だなというふうに思うんですけども、私は単純に弁護士さん2人いるんで、何か法律的にも詳しいというふうに思っておりますし、米田市長もある程度命令というんでしょうか、コマンドというんでしょうかね、命令を下せば、やっぱり新たな展開が見えてくるというふうに思っておるんですけども、米田市長はどのように考えておりますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

お答えいたします。

ただいま部長が答弁したとおりであるわけでございますので、今そういう状況でございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

事務方トップの副市長のお考えは、どのようなものでしょうか、お答えください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

井川副市長。〔副市長 井川賢一君登壇〕

○副市長（井川賢一君）

お答えいたします。

元職員については、立件されて、現在罪を受けて償っているところでございます。その他の案件については、警察のほうにも私ども相談させていただいてる中で、今のところ返答は頂いておりません。そういった中で、私らもやれることはやるという気持ちでおりますけども、なかなか本人も今、罪を受けて、更正の段階に入っている。そういった中で、やっぱり人権問題というのもあるかと思えます。そこを、決してこちらも引いているわけではありませんが、やはり難しい部分があるということで考えております。

ただ、やるべきことは、しっかりやっていくというつもりで取り組んでいます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

教育長にお伺いします。

ひとみかがやく、日本一の子どもを育む教育現場の学校長に、どのように指導といいますか、指示をされますでしょうか。

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員、質問項目に、どこになりますか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

すみません。この件に関して、教育長の立場として、教育現場の学校長を通じて、何か問合せがあったときに、どのように指示といいますか、指導されますでしょうかということですけど。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

蘆本教育長。〔教育長 蘆本修一君登壇〕

○教育長（蘆本修一君）

お答えいたします。

今ほどの事例についての学校現場からの問合せ等は、今現在のところは受けておりません。ただし、校長を含めて教職員は、市の行政上の問題、諸問題については、一応議会でどのような話があったのかという分については、特に私の場合については、教育分野について、この議会の内容についての教育分野に特化して、各学校に毎回、校長にしっかり伝わるようにどういうことが議会で行われているのかについての内容の中には、特にこの問題については入れてありません。

以上です。

○議長（松尾徹郎君）

質問の範囲内でお願いいたします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

失礼いたしました。では、この問題に関しては、ちょっとまだ腑に落ちませんけれども、時間もありますので、一旦これでやめます。

次に、（2）の大系線に関してであります。行政サイドには、存続に向けて、取りかかりが遅かったのではないかというふうに思うんですけども、そういった認識はないでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

五十嵐都市政策課長。〔都市政策課長 五十嵐博文君登壇〕

○都市政策課長（五十嵐博文君）

お答えいたします。

J Rの報道発表以来、このような状況というのがクローズアップされてきておりますが、私ども大糸線等鉄道の利用促進に関しましては、私が今現在記録等で把握しとる限りでも、平成8年から、もう当時、北陸本線等利用促進協議会と、今は日本海ひすいライン等利用促進協議会とかで鉄道のイベント関係ですとか、特に大糸線に関しましては、今の車両に「ぬーな」のラッピングをしたりとか、そういう地域のところに、地域の皆さんに大糸線をもっと知ってもらい、乗ってもらおうという、そういう取組はしてございました。その後、平成31年に大糸線活性化協議会ということで、これは今度、もう大糸線の活性化、もう本当にそこに独自に特化して、先ほどのひすいラインはJ Rに対する要望等も行っていたんですが、この活性化協議会は、J Rも一緒になって、J R大糸線をどうにかしようよという取組でございます。これ以外にも、商工観光課のほうで担当しております北アルプス日本海広域観光連携会議ということで、これは今度、観光に特化した取組をかなり進めてきたところでございます。

ただ、いろんなそういう角度から、鉄道に対する取組というのを進めてまいりましたけど、実際に利用者はというと、報道発表のとおりでございます。今、先月行われました振興部会のほうでは、白馬・松本までも、大糸線全体、東の区間も入れて、それこそ持続可能、路線の維持にということについて、市長の答弁のとおりでございます沿線一体になってギアをさらに、1段、2段上げた取組というのを今後行ってまいりたいと思っております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

相手もあることですし、鉄道の事業者任せでは立ち行かないということが現実の姿だと思います。お互いに情報を共有しながら、お互いがどこまでできるか、理解し合うことで、よりよい回答が見つかると思いますけれども、そこら辺はどのように考えておりますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

五十嵐都市政策課長。〔都市政策課長 五十嵐博文君登壇〕

○都市政策課長（五十嵐博文君）

お答えいたします。

先般、開かれました大糸線活性化協議会、失礼いたしました。大糸線の同盟会の中に設けられました振興部会は、沿線市町村、あと沿線の経済団体、観光団体、そこにオブザーバーとしてJ R西日本も加えております。必要なタイミングでは、東も加えられるといったようなスキームで、取り組んでおります。J Rのほうもオープンな議論をということで、求めてきたのもJ Rでございますので、その辺はいろいろ報道にもありましたが、J Rと沿線市の中で廃線とかバス転換とか、そういうのを前提にしている議論ではないということをお互い約束事と確認して、J Rと一緒に、この振興部会で議論していきましようという取組ですので、そこはご理解いただきたいと思っております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

最後の質問にしたいと思います。

存続させるには、やっぱり国だとか県の支援なんかも必要であるというふうに思いますし、簡単な話ではないと思います。存続に向けて、米田市長の考えを伺いたいんですけども、お願いいたします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

お答えいたします。

非常に大糸線につきましては、いろんな方の考え方がいろいろあろうかと思うわけですが、しかし、地域にとって、私はなくてはならない路線だと捉えております。それはなぜかといいますと、北陸新幹線が完成し、糸魚川駅ができたわけございまして、そして、この日本海側の観光客を運ぶ大きな鉄道という形の中においては、私は重要な路線であるわけであります。そして、北アルプス、特に白馬を中心とする観光地として、世界、冬季オリンピックがあったわけございまして、世界に名立たる観光地の一つとして捉えた場合に、これから鉄道を利用するのは、国民より、もしかしたらインバウンドではないかということを考えたときに、まだまだ重要性が発揮できるんじゃないかと。それを今コロナ禍で旅行客が激減したからといって、なくすることはやはり公共交通として、私はやってはいけないと思っておる次第でございますので、その辺は松本・糸魚川間の自治体の首長の皆様で大体そのようなお考えをお持ちでございますので、一体となって取り組んでいきたいと思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

市長、よろしくお願ひします。

では、これで私の一般質問を終わります。

○議長（松尾徹郎君）

以上で、渡辺議員の質問が終わりました。

本日は、これにてとどめ、延会といたします。

ご苦労さまでした。

〈午後4時40分 延会〉